

## ◎指導教諭について

→管理職ではないという確認をしている。給与改善である。指導養護教諭の複数配置は今後とりくみたい。

## ◎特割導入は変形時間労働制ではないのか。

→特別支援校の舎監に導入されている。勤務軽減されたという実態はある。高校にも広げていきたい。変形時間労働制につながらないようにしていく。

## ◎高校生への主権者教育を抑制するような実態はあるのか。

→県とは「抑制するものではない」と確認している。むしろ私たち教員側が萎縮し、過度に抑制するような動きがでないか心配。

## ◎移動書記局のことを具体的に教えて欲しい。

→昨年度釜石支部で開催。年に1回行っている。執行委員や書記が出向いて支部での全体会、分会での分会会議に参加し、情勢を伝えたり、現場の実態を聞いている。

## ◎現職で死亡した組合員の配偶者が退教互の準会員になれるようにして欲しい。

→今後検討会を立ち上げて検討していく。

## ◎統合の新聞記事を見て中学生が入学しなくなってしまう。教職員も一年毎に俎上に上っては大変。こころに余裕を持てる、長期的見通しを立てられる計画にして欲しい。

→一度計画が出てしまうと決定事項と捉えられてしまう。地域と対話し県との交渉にあたる。

## ◎臨採者の校務負担が本採用と変わらないか、むしろ多い例もある。

→正規採用の教職員の余裕のなさもあり、その実態もある。改善できるところからとりくんでいく。

## ◎舎監の特割は7時間の勤務に対して4時間。記録簿から特割の時間は除外しろと言われた。おかしいのでは。

→そのとおり。舎監の課題は色々あると認識している。とりくんでいく。

## ◎となん支援学校は矢巾移転から2年。職員駐車場が70台確保できたが、月5,000円の負担。不来方高校に10台分借りている。この状況では、となん支援学校に異動したくないという人もいる。なんとかして欲しい。

→県も認識しているがハードルは高い。今後も交渉する。

## ◎再任用給与の改善が必要。退職時給与の保障が願い。産業医が高齢過ぎて心配。

→当局と交渉する。



## 修正案の取扱い

### 【修正案】

提出分会 杜陵通信制分会

修正案 議案書41ページ 左15行

8. 憲法と平和・環境・人権を守るとりくみ

(3) の後に (4) として挿入

(4) 新元号「令和」の強制使用に反対します。

理由 月刊JTU2019年5月号での憲法学者斎藤一久さんの指摘点に、本分会でも賛同します。昨今の改元フィーバーを私たちはもっと冷静に考えるべきです。

### 【本部取り扱い】

字句修正の上、受け入れ((3)に書き入れる。)

(3) 内心の自由を侵す「日の丸、君が代」の強制、元号使用の強制に反対します。